

日時：平成30年7月1日（日）13：15～16：10 場所：千葉市動物公園 動物科学館

講師：千葉市動物公園 宮崎 沙都先生（獣医）

「獣医の仕事」が多岐にわたることに驚く



動物病院に入る前に、靴を消毒します。



処置室に入り、緊張の面持ち



研究室で寄生虫の話聞く



実物を見ながら、注射器の工夫について説明をうけました。



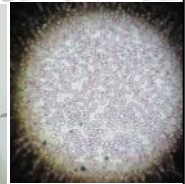
手術室で、吹き矢の麻醉方法を聞く



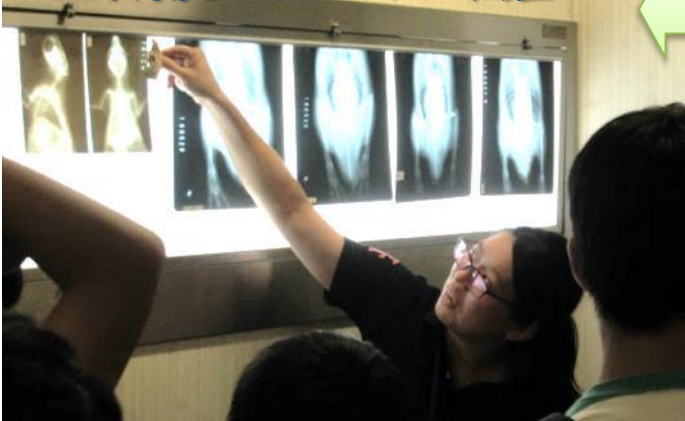
段ボールで吹き矢の練習をするそうです。



顕微鏡で鳥の赤血球を見ました。



実物とレントゲンの照合



診察室で見た標本



「動物園で亡くなった動物が標本となり、その標本とレントゲンを合わせて、今生きている動物の治療方法を模索することもある。」という話をうかがいました。

ペンギンの病状をレントゲン写真で確認



【受講生の感想】

- 動物園で働いている獣医さんについて、仕事内容や大変なこと、なりたかったきっかけなどたくさんのことを学べた。また、普段は入れない診察室などを見学させていただき、とても貴重な時間となった。
- 動物の手術室を見たときここで命が扱われているかと思うと緊張しました。
- 私のなりたいたいのものが獣医だったので、今回、色々な仕事の内容や種類について知ることができて良かった。今まで、犬猫などの小動物の臨床のイメージが強かったので、畜産業や衛生面の仕事メインなことに驚いた。選択肢が広がったようで嬉しい。
- 動物園で働く獣医さんはただ病気になった動物を治しているだけではないということを知れた。例えば病気を防ぐために検疫をして動物が菌を持っていないかチェックしたり、靴を消毒液につけて人が菌を運ばないようにしたりと菌の入り口をふさいでいるという工夫はすごいなと思った。また、もし病気になってしまったとしても担当の人とコミュニケーションをとって原因を見つけ、研究しているという表には見えない努力をされていて大変そうだけれど、やりがいのある仕事だなと興味を持てた。